



永松 里和

(2012年3月 博士前期課程修了)

私は専修免許を取得するために英語教員リカレントコースに入学しました。しかし大学院の授業についていけるのかが不安で、受験に至るまで何年もためらい続けました。実際に入学してみると、先生方の親身なご指導と一緒に学ぶ仲間に助けられ、楽しい大学院生活を過ごすことができました。卒業及び専修免許取得必要単位数を修得するためには、専攻する言語学以外に、文学など他の分野も履修しなければなりません。相当数の参考文献を読むことも必要でした。その上、知的好奇心から必修外科目を履修して、学習負荷をかけてしまったこともありました。睡眠時間を削り、休日返上で課題に取り組むことが常でしたが、今となってはいい思い出です。リカレントコースは、年齢もキャリアも異なる現役英語教員が集っています。卒業生を含めたネットワークが強く、大学院生活や職場での悩み事を相談できます。皆、同様に多忙な日常を過ごし、その中から研究に費やす時間を捻出されています。職場以外に自分自身のための研究時間を持つことで、英語そのものに対する興味や視点が変わってきました。「先生」から「生徒」になって、久しぶりの学生生活を満喫できました。